



若葉のころ

副校長 小澤 孝之

今年度、神田先生の後を引き継いで副校長に着任しました小澤と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。前任校は港南台ひの特別支援学校です。その前は20年以上小学校の教員として勤務していましたので、どちらかという小学校に「帰ってきた」という感じがしています。まだまだ至らない点が多くあるかと思いますが、全力で取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月の新学期開始から1か月がたち、学校全体が落ち着きつつあります。1年生は給食が始まり、一日の多くの時間を学校で過ごす日が増えてきました。2～6年生も新しい学年・クラスに慣れ始め、学習・生活のリズムを作りつつあります。

学校内に目を向けると、4月の初めには春の始まりを感じさせていた桜の花が散り、今は新緑の葉をつけています。この緑の季節を迎えると思出す詩があります。



校庭の前にある桜の木。すっかり新緑の装いです。

この詩は3年生の国語の教科書の最初にのっているものです。今年度の3年生の廊下にも掲示されています。私も担任だったころは授業で視写をしたり音読の宿題を出したりした記憶があります。まさに子どもたちの成長と可能性を感じさせる詩だと思っています。

この詩の作者はまど・みちおさんです。まど・みちおさんの詩はわかりやすく、でも、どこか面白いものが多いので、ご存じの方も多いかと思います。学校のメディアセンター(図書館)にも本がありますので、子どもたちにも読んでほしいと思います。

私たち教職員一丸となって「わかば」である子どもたちの成長を見守り、育てていきたいと思っています。これからも保護者の皆様、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ぼく	あんな	天が、	人間の	ぼく	むね	わか	わか
く	なに	ほら。	のわ	く	が	か	か
ら	に		わか	ら	が	ば	ば
を	晴		ば。	子	晴	を	
見	れ			ども	晴	見	
ま	れ			も	れ	と	
も	し			も	す		
っ	て			ほん			
て	い			とは			
い	る						
る	。						
。							